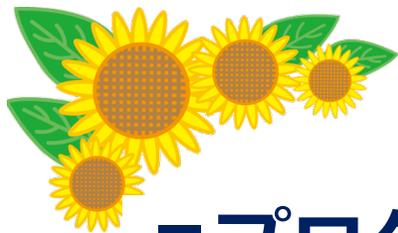


No.とプログラム名	No.30 気象予報士といっしょにお天気について学ぼう！
実施日・回数	8月6日（火）13：30～15：00 1回実施
会場	【戸塚区】 とつか区民活動センター 会議室
参加児童数	24人
企業・団体等名	よこはま気象予報士サークルひまわり
参加の目的 (150文字程度)	小学生にとって「お天気」は最も身近なサイエンス。身近なものを使った簡単な実験で、その仕組みを学んでもらう。また、夏は局地的大雨、雷、そして台風の季節。小学校高学年になると一人での行動が増えるため、自分の身を守るためには自分で考え行動する力が必要になる。学んだ気象防災について家に帰って家族で話し合う機会になればと思う。



気象予報士といっしょに お天気について学ぼう！

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024

■プログラム内容

身近にあるものを使って
簡単な実験をしよう！

- ①ミニ竜巻発生装置を組み立てて
うずを観察しよう。
- ②ペットボトルで雲を作ってみよう！

風水害から身を守ろう！

とつぜんの大雨や雷を
ひきおこすのはどんな雲？
どうやって身を守ったらいいのかな？
いっしょに考えてみよう！

■当日の流れと活動の様子

気象予報士ってどんなことをするの？

気象キャスターや予報業務だけではなく、様々な場面で
必要とされ、活躍しています。

ミニ竜巻発生装置を組み立てよう！

羽をクリップで留めるところが難しいのですが、みんなきちんとできました。
グループ毎に気象予報士のスタッフが一人つき、組み立てをフォローして
回りました。



装置が完成！



よこはま気象予報士サークルひまわり

■ 当日の流れと活動の様子

さあ、ウズの観察だ！

ドライアイスで煙を出してミニ扇風機を回すと、あら不思議！煙が回転し、渦を作り出しました。装置を逆向きにしたらどうなる？装置を重ねて2段にしてみたらどうだろう？グループ内で協力して実験しました。

雲ができるしくみを説明



ペットボトルで雲を作ってみよう！

雲ができる仕組みを学んだら、さっそく実験。ペットボトルの中に真っ白な雲ができました。カいっぱいプッシュプッシュ空気を詰め込んで手が疲れたかな？

情報はテレビのニュースから。

僕はインターネット。スマホとか。

がけからは土が崩れてくる危険があります。

防災のおはなし

クイズを通して大雨や雷のときの行動を確認。気象災害は地震と違って「いつくるか」を予報を見て確認できます。ワークシートが完成したら、みんなの前で発表してもらいました。家に帰ったら家族で話し合ってみましょう！

ワークシート作成中！

すごい風だった次の日登校中に垂れ下がっている電線を見たよ！

ハザードマップを見ることがありません。

■ 私たちの気づきや感想

★講座経験は多くあるが、主催者となりチラシ作成から募集・抽選、教材費の徴収など運営は初めてだった。まずは事故なく無事講座を終了することができホッとした。

★応募者が多く抽選だったが、当選者が全員参加してくださり、とても嬉しかった。

★子どもたちだけで組み立て作業ができるか心配したが、グループに一人気象予報士を付けたため何とか装置を完成することができた。グループを縦割りにしたのもよかったと思う。が、子どもの対応に追われ、報告用の写真が撮影できなかった。

★保護者の参加も可能にしたかったが、会場の都合上難しかった。

★家でも正しく実験できるように保護者向けのレジュメを配った。また講座終了後、迎えにいらした保護者の方々に、実験のデモを行ったため、内容を理解していただけたと思う。

★実験が面白くて、時間が押してしまった。気象防災に関する時間をもっと取り、自分たちの住む街についての理解を深めたかった。

★最後に多くの助言をいただいたとつか区民活動センターのみなさまに感謝申し上げます。

将来気象予報士になりたいです！

初対面のお友達と協力して実験を行うことができました。



開始前

大雨・雷などの基本的な行動をちゃんとわかっていたので頼もしい！



実験が面白かった！

防災クイズ